

イーストスプリング・インドネシア株式オープン 8月13日における基準価額の変動について

受益者向け資料
2015年8月13日

2015年8月13日、当社が運用する「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」の基準価額が前営業日比で5%を超える下落となりました。変動の主な要因等についてお伝えします。

ファンド名	8月13日 基準価額	8月12日 基準価額	前営業日比	前営業日比 騰落率
イーストスプリング・ インドネシア株式オープン	8,408円	8,867円	-459円	-5.18%

※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

(ご参考) 株価指数	8月12日	8月11日	前営業日比	前営業日比 騰落率
ジャカルタ総合指数(現地通貨ベース)	4,479.49	4,622.59	-143.10	-3.10%
(ご参考) 為替レート	8月13日	8月12日	前営業日比	前営業日比 騰落率
インドネシアルピア(100ルピア当たり、対円)	0.91円	0.92円	-0.01円	-1.09%

出所:ジャカルタ総合指数はBloomberg L.P.のデータ、為替レートは一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

基準価額下落の背景: 中国の予想外の為替レート「基準値」の引下げ

8月12日、インドネシア株式市場を代表するジャカルタ総合指数(JCI)は前日比で3.1%(現地通貨ベース)下落しました。人民元の急落を受け、輸出部門をはじめインドネシア経済への影響に対する懸念が、下落の主な要因となりました。

中国人民銀行(中央銀行)は、前日である11日に人民元の対米ドルの基準値の算出方法を変更することで、実質的に2%近い切下げを実施しました。市場では11日以降の動きが注目されていましたが、12日に発表された基準値も前日比約1.6%切下げた水準であったことから、中国が通貨安誘導の姿勢を明らかにしたとの見方が広がりました。

そのため、インドネシアなどの周辺諸国では、中国と競合する輸出部門などへの影響に対する懸念や、中国の実体経済の状況が公表されている以上に悪化しているのではないかと懸念も広がりました。このような状況を嫌気して幅広い業種にわたり売られた結果、12日のJCIは、前日比3.1%安の4,479.49で終了しました。同指数は4月に付けた最高値から18.9%の下落となっています。

また、中国の景気減速懸念によりアジア全体で通貨安となる中、インドネシアルピアは対円でも下落し、前日比1.09%の円高ルピア安となりました。保有銘柄の下落、円高の進行等により、当ファンドの騰落率は前日比-5.18%となりました。

今後の見通し: 人民元急落の背景には元の国際化を目指す動き 市場の調整局面は割安な優良株の組入れの好機

インドネシアでは4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率が前年同期比+4.7%と2期連続で5%を割込むなど足元で経済の減速が懸念され、株式、通貨は下落傾向となっていました。今回の人民元の下落を受け中国経済の減速及び対中輸出の更なる縮小への懸念から株式、通貨ともに急落しました。

しかし、今回の中国人民銀行の措置は、当初報道されたような「事実上の人民元の切下げ」ではなく、人民元の国際化に向けた動きの一つであるとみています。通貨安は輸出競争力の面ではプラスとなるものの、外貨建て債務などマイナスの側面も考えられ、中国人民銀行は人民元相場の改善と為替相場の正常な変動を目指しているものと考えられます。今回の人民元の急落を受けて米ドル高が進行し、経常赤字国であるインドネシアは大幅下落となりました。ただし、経常黒字国であるシンガポールやマレーシアも同様に下落しており、インドネシア固有の要因は低いと考えています。12日、ジョコ大統領は経済改革推進のため内閣改造を実施しました。今後は政府予算の迅速な執行など新体制による経済強化が期待されます。

運用担当者は市場の調整局面ではファンダメンタルズが強固な企業の株式を割安な水準で組入れる好機と考えています。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

150813(09)